

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総 合 評 価

受診施設名	一般社団法人キョウトアス 放課後等デイサービスLian	施設 種別	放課後等デイサービス キョウトLianーリアナー
評価機関名	特定非営利活動法人 とらい・あぐる		

令和7年11月21日

総 評	<p>山科区の地下鉄小野駅近くにある『一般社団法人 キョウトアス』の放課後等デイサービス『キョウトLianーリアナー』は、小中高校生までの障害のある子どもたちのための通所サービスを展開しています。</p> <p>現在の利用登録者数27名で、1日平均10名を受け入れています。1階は、図書読書スペースを含めた全体の活動の場、2階は、3床のショートステイが併設されており、個別支援ケースに活用するなどして、一人ひとりの子どもに必要とする支援の場を提供しています。</p> <p>子ども第一主義を掲げ、子どもたちに本当に必要なサポートや支援を事業所全体で取り組み、また、障害を持つ親の支援にも力を注いでおり、適宜に保護者面談も実施されています。</p> <p>障害への理解も含め、障害を持つ本人、保護者の思いを積極的に情報発信していく役割も事業所として課されていると考えます。</p> <p>今後は長期ビジョンとして掲げている地域社会との関係をより深め、近隣の大学で資格取得のための実習生の受け入れ、ボランティアの募集も開始して欲しいと思います。策定された中長期計画にのっとり、計画の実現に向けて事業展開がなされることを期待します。</p>
特に良かった点(※)	<p>○職場環境は、管理者のリーダーシップが適切に保たれていて、風通しが良い職場の雰囲気が感じられます。</p> <p>日々の活動や課題に対しては、即応・即決でスピーディに対応しており、個別支援計画を見直し反映していく姿勢がみられることは、評価できると思います。</p> <p>○外出支援や一泊旅行など、子どもたちの視点で、興味のあるプログラムやイベントが提供されていることについては、今後も継続して行ってほしいと願います。</p> <p>○資格取得にかかる費用や業務がすべて法人負担でなされているのは、福利厚生における働きやすい環境づくりに寄与していると感じられます。職員からも資格取得に向けてのサポートが、キャリアアップに繋がりが意識向上が保たれているとの声もありました。</p> <p>また。残業ゼロは、職員のワークライフバランスの向上に大きく寄与していると思います。今後も継続して職員のスキルアップや働きやすい職場の環境づくりに取り組んでほしいと思います。</p>
特に改善が望まれる点(※)	<p>○連絡ノートやグループラインは、メモや手書き文書ではなく、電子化した記録として残すことが必要だと思われます。これは、今後の事業所の蓄積されたノウハウ（財産）として、後進の育成や利用者の利益のために他なりません。ぜひ実施して欲しいと思います。</p> <p>それに併せ、ヒヤリハット苦情対応などについてもデータ化し、集約して内容分析することが、今後必要かと思われます。</p>

	<p>記録の保全については、引継ぎ内容の確実さを明確にし、開示請求なども考慮して、より一層の記録の整備が望まれます。</p> <p>○各種研修は実施、参加されているものの、受講者の口頭での報告が主となっています。研修報告書を作成し、職員全体で回覧し、研修内容を共有することで、職員全体での研修効果が得られるのではないかと思います。</p> <p>○広報における広報誌やSNSの活用などは、十分とは言えないと思われます。地域社会における情報発信としても広報誌やSNSなどは上手く活用し、地域や行政との繋がり作りの一助にしてほしいと願います。</p>
--	---

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【障害事業所版】

評価結果対比シート

受診施設名	一般社団法人 キョウトアス 放課後等デイサービス キョウトLian-リアン
施設種別	放課後等デイサービス
評価機関名	NPO法人 とらい・あぐる
訪問調査日	令和7年11月21日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念、基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	a
[自由記述欄]					
1) 法人理念は、事業所ホームページに記載、公開している。事業所内にも掲示、また、職員証の裏面にも理念が記載され、周知がなされている。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 法人として事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	a
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b	b
[自由記述欄]					
2) 税理士と定期的に協議しながら、自事業の数的分析が実施できている。また、地域その他デイサービスや障害サービスの動向も把握し、中長期の計画に落とし込むことができています。					
3) 法人役員間では適宜に会議を開催し経営課題が検討され、決算資料の作成がなされているが、文書での記録が残されておらず、明文化されていない。					

評価分類	評価項目	通番	評 価 細 目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	法人として中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	b
		5	②	中・長期のビジョンを踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b
		7	②	事業計画は、障害のある本人等に周知され、理解を促している。	b	b
[自由記述欄]						
4) 5) 今年度はじめて、中長期計画の策定に着手し、ビジョンや内容は明確になったが、現段階では実行や取り組みについてはできていない。 単年度計画についても策定されているが、研修計画が計画通りに進まないなど実際の取り組みへの落とし込みが不十分である。						
6) 職員の目標管理シートが作成され職員の理解の下にあるが、実施作成の評価は今後の活用次第なため評価できない。						
7) ご家族向けの広報誌は作成されているが、活動報告が主であるために、事業計画などを掲載しての周知、理解を促すまでには至っていない。						

評価分類	評価項目	通番	評 価 細 目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	②	評価結果に基づき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	b
[自由記述欄]						
8) すべての研修が職員全員に計画通りに実施、受講できていない。職員の目標管理シートも今年度からの立ち上げのため、現状PDCAサイクルが確立されているとは言えない。						
9) アンケート実施後に検討、分析はなされているが具体的な改善策の提示には至っていない。						

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-1 管理者の責任と リーダーシップ	Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされてい る。	10	①	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っ ている。	b	b
		11	②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	a
	Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮さ れている。	12	①	福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組にリーダ－ シップを発揮している。	b	b
		13	②	経営の改善や業務の実行性を高める取組にリーダ－シップを発 揮している。	b	b
[自由記述欄]						
10) 管理者の役割と責任については周知されているが、ただ有事における際の権限委任などが明確にされておらず十分とは言えない。 11) 管理者は勉強会や研修にも参加し、研修受講資料なども事業所内で回覧がなされている。 12) アンケートの集約、分析はしているものの、改善策を反映するための具体的な取り組みが行われていない。 13) 経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、代表が税理士と相談しているが、職員全体に情報共有はなされていない。						

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-2 福祉人材の確保・養成	Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	a
	Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a
[自由記述欄]					
14) 人材確保に向けてはホームページやSNSなど様々な方策を用いて採用活動を行っている。 15) 期待される人材像が職員のモットーという形で明確化され、職員にも周知されている。研修計画に基づき、職員がキャリアアップのイメージを作りやすくなっている。 16) 健康診断の実施やワクチンの接種補助なども整えられており、有給休暇の取得や残業ゼロなどワークライフバランスに配慮した働きやすい職場づくりがなされている。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-2 福祉人材の確保・養成	Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c	b
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c	c
[自由記述欄]					
17) 各種研修などへの参加が積極的に促されているが、目標管理シートの運用実施はできていない。 18) 研修計画もあり一定参加もされているが、研修内容の伝達のための記録の作成には改善の余地がみられる。 19) 職員が受講したい研修への参加が叶えられる職場環境が整っている。 20) 現状実習生の受け入れ実績はないので、その体制は整っていない。現在検討中で実施はされていないが、実習生受け入れにむけての資料準備には着手しつつある段階であり、担当者を決めての整備を望む。					

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	c	c
		22	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b
[自由記述欄]						
21) 法人理念、事業内容やサービスについては、ホームページなどで公開しているが、運営の透明性を確保するための情報公開は十分とは言えない。						
22) 事業所内の経理は、税理士と相談し、経営、運営の指導を仰いでいるが、外部監査の実施など課題が残る。						

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	①	障害のある本人と地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	a
		24	②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c	c
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	①	福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	b
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	①	福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	c	c
		27	②	地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	b	b
〔自由記述欄〕						
23) 地元商店街への定期的な外出支援の継続や、学区外のより遠方の子ども食堂への参加などを積極的に行っている。 24) ボランティアの受け入れは長期ビジョンとして記載され現在検討しているが、実施するには至っていない。 25) 自立支援協議会による、放課後等デイサービスフェアに参加しており、一部関係機関と連携はしているが、行政の担当部署や社会福祉協議会などとの連携が十分とは言えない。 26) 地元の行事やイベントなどへの参加はみられず、近隣地域との関係性は十分に構築されているとは言えない。 27) 地域における避難場所に指定されてはいるが、地域住民の十分なニーズを満たすに至っていない。						

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 本人本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 障害のある本人を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 障害のある本人を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	a
		29	② 障害のある本人のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	b	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	b
		31	② 福祉サービスの開始・変更にあたり障害のある本人（家族・成年後見人等含む）にわかりやすく説明している。	b	a
		32	③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b	a

【自由記述欄】

- 28) サービス提供に必要な情報伝達が職員連絡ノートや日々の打ち合わせのなかで随時行われている。
 29) 各種マニュアルの整備はできており、権利擁護関連の研修なども実施、参加できている。
 30) 広報誌を行政に送るなどはできておらず、情報発信の取り組みが十分になされているとは言えない。
 31) 本人を取り囲む保護者や学校との連携は取れており、本人を中心とした支援についての情報交換はなされている。
 32) 利用者が他事業所と複数利用の場合、他事業所と連絡、情報提供、共有がなされ、適切に執り行われている。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 本人本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(3) 障害のある本人のニーズの充足に努めている。	33	① 障害のある本人のニーズの充足に向けた取組及び相談や意見を述べやすい環境を整備している。	b	a
	Ⅲ-1-(4) 障害のある本人が意見等を述べやすい体制が確保されている。	34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	a
		35	② 障害のある本人からの相談や意見に対して把握する仕組みがあり、組織的かつ迅速に対応している。	b	b
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	a
		37	② 感染症の予防や発生時における障害のある本人の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	b
		38	③ 災害時における障害のある本人の安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	a

【自由記述欄】

- 33) 相談体制が確立されており、意見を述べやすい環境は整っている。
 34) 職員全員で保護者からの苦情や申し出に対して共有しスピーディに対応することができている。
 35) 苦情などについては、職員の対応ができているが、積極的な意見吸い上げの仕組みとしての意見箱などの設置はできていない。
 36) 服薬マニュアルやてんかん発作への対応などについてはまとめられており、職員の誰もが対応、確認のできる状況になっている。
 37) マニュアルは策定されているが、感染症に関する研修は十分に実施されているとは言えない。
 38) BCPの策定ができしており、避難訓練が実施され、備蓄リストも作成されている。利用者用の防災頭巾も備えられている。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの一定の水準を確保するための実施方法が確立している。	39	① 提供する福祉サービスについて一定の水準を確保するための実施方法が文書化され福祉サービスが提供されるとともに見直しをする仕組みが確立している。	b	a
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	40	① アセスメントに基づく個別支援計画等を適切に策定している。	a	a
		41	② 定期的に個別支援計画に基づく評価・見直しを行っている。	b	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	42	① 障害のある本人に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	a
		43	② 障害のある本人に関する記録の管理体制が確立している。	b	a

[自由記述欄]

- 39) 個別支援計画見直しのための議論の経過が職員会議議事録から確認でき読み取れる。ヒヤリハットへの対応も即日に振り返りができる体制を取っている。
- 40) 個別支援計画策定にあたっては、担当の責任者により情報収集がなされ、アセスメントに基づいた支援計画が作成されている。
- 41) 個別支援計画は随時、更新され見直されている。アセスメントと見直しは適切に行われている。
- 42) 『児童デイ日誌』から、利用者の状況については、職員間の情報共有はされており、個別支援計画に落とし込むことができています。
- 43) 個人情報保護規定が整えられており、鍵付きキャビネットの使用、社用携帯の使用に至るまで適切に管理されている。

A 障害のある本人を尊重した日常生活支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 支援の基本理念	A-1-(1) 自立支援	44	① 障害のある本人の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	c	b
	A-1-(2) 権利擁護	45	① 障害のある本人の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	b	b
	A-1-(3) ノーマライゼーションの推進	46	① 誰もが当たり前に暮らせる社会の実現に向けた取組を行っている。	b	b

[自由記述欄]

- 44) 日常生活において、本人の趣味や好きなことを把握し、買い物同行などの支援を行っているが、利用者一人ひとりの自己決定を尊重しているかまでは確認できておらず課題を残している。
- 45) 権利擁護マニュアルを作成し職員には周知されており、権利擁護事案が発生した場合、防止委員会が設置される。家族が権利擁護について学習する機会や研修は、事業所や法人としては提供していない。
- 46) 個別支援計画を基にしたサービスを提供しており、本人の障害特性についての理解、共有はしているが、ノーマライゼーションの推進については地域社会に発信はしておらず、また職員研修も十分とは言えない。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 生活支援	A-2-(1) 意思の尊重とコミュニケーション	47	① 障害のある本人（子どもを含む）の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	b	a
		48	② 障害のある本人の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	b	b
		49	③ 障害のある本人の障害の状況に応じた専門的かつ多角的な視点から支援を行っている。	b	a
	A-2-(2) 日常的生活支援及び日中活動支援	50	① 個別支援計画に基づく日常的生活支援及び日中活動の支援を行っている。	b	a
	A-2-(3) 生活環境	51	① 障害のある本人の快適性と安心・安全に配慮した環境が確保されている。	b	a

[自由記述欄]

- 47) 本人の障害の特性に応じて、様々なカードを使ったり、視覚を活かした貼紙などでコミュニケーションを取っている。
- 48) 家族や学校から本人の様子を聞いたり、本人からの思いを直接に聞きとるなどの努力はしているが、本人への情報提供や説明は、個人の障害の特性もあり、課題を残している。
- 49) 本人の心身の状況に合わせ、マンツーマンでの対応、あるいは、2階のショートステイの場所を活用して、落ち着いて過ごせる環境を用意するなど柔軟な対応を行っている。
- 50) 個別支援計画に基づき必要に応じた支援、また、入浴、清拭、食事の提供など様々な活動の支援を行っている。
- 51) 定員を10名に定め、ワンフロアにおいて目が行き届くような配慮がなされている。また、学習のためやクールダウンのために2階のショートステイのスペースをうまく活用している。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 生活支援	A-2-(4) 機能訓練・生活訓練	52	① 障害のある本人の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	—	非該当
	A-2-(5) 社会生活を営むための支援	53	① 障害のある本人の希望と意向を尊重した社会生活を営む力をつけるための支援を行っている。	b	a
	A-2-(6) 健康管理・医療的な支援	54	① 障害のある本人の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b	a
		55	② 医療的な支援について適切に提供（連携）する仕組みがある。	b	a

[自由記述欄]

- 53) 家族や本人の意向を聞き、外出支援や一泊旅行を通じて、社会参加や学習意欲の向上のための支援を継続して行っている。
- 54) 55) 当日の本人の健康状態の把握に努めている。なお病歴、既往症、服薬については管理がなされ、かかりつけ医の指示に基づき、適切な対応を行っている。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 生活支援	A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	56	① 障害のある本人の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	c	c
	A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	57	① 障害のある本人の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	b	a
	A-2-(9) はたらくことや活動・生活する力への支援	58	① 障害のある本人の活動・生活する力や可能性を尊重した支援を行っている。	—	非該当
		59	② 障害のある本人に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	—	非該当

[自由記述欄]

56) 現在においては、地域生活への移行や地域生活のための具体的な支援が必要な利用者はいないが、課題として行政や社会福祉協議会、関係団体とまずは関係づくりに努めることが望まれる。
 57) 利用者家族とは、連絡ノートなどで常に連絡を密にしている。家族支援を念頭に置き、随時来所や電話による相談を行っている。夏休みには、本人と家族とで一泊の旅行を実施しており、家族交流、家族支援を行っている。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-3 就労支援	A-3-(1) 就労支援	60	① 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	—	非該当

[自由記述欄]